

～今こそ「社会保障」の充実を～

近年、経済的格差の拡大やコロナ禍による貧困のために、
歯科受診できない患者さんが増えています…。



◆患者・国民の皆さんから当会に届いた声(一部)

- ・「お金の心配をしないで歯科治療を受けたい」
- ・「保険のきく歯科治療を増やしてほしい」

- ・「金銭的な理由により必要なときに歯科受診できない世帯」は約160万世帯！(国立社会保障・人口問題研究所「生活と支え合いに関する調査」(2017年)より推計)
- ・病気を抱えているのに経済的な理由で受診を控え、症状が悪化、最悪の場合は死に至る…。「メディカル・プア」という問題が、コロナ禍で浮上しています。

⇒かつては単身者に多い傾向がありましたが、家族で暮らしている場合でも、コロナ禍で配偶者の収入が減った結果、家計に負担をかけられないため、病院に行けないというケースが、いま増えています。

※コロナ禍による解雇・雇い止めの人数は約8万人にのぼる(2021年1月現在)。

⇒近年の研究で、歯周病の治療は、認知症の発症・進行を遅らせる、心筋梗塞・脳梗塞・糖尿病など全身の病気を防ぐことにつながる事が指摘されています。

全身の健康のためには、定期的な歯科受診が重要です。

⇒そのため、当会は「社会保障」の充実が必要だと考えています。



では「社会保障」とは何でしょうか？
次号No.51で解説します！

